

基礎教育としてのセキュリティと意識 (SAFE)

カリフォルニア州社会福祉局 (CDSS)

協働プロジェクト



KALEO
韓国系アメリカ人
法執行機関





KALEO

韓国系アメリカ人
法執行機関

KALEOは、全米および全世界の韓国系アメリカ人法執行機関職員の推進と文化的理解の育成に重点を置いた非営利団体です。地域社会、その住民やボランティア人員に好影響を及ぼすことを使命としています。KALEOは、法執行機関コミュニティ内での我々のプレゼンスの強化と、韓国系アメリカ人の法執行官としての成長に尽力します。



Pacific Asian
Consortium
in Employment

PACEは、ロサンゼルス圏の太平洋・アジア系コミュニティや他の多様なコミュニティの雇用、教育、住宅、環境、事業開発に関する難題に対応する経済的ソリューションを創出するコミュニティ開発組織です。



P A C E C A R E

PACE CAREは、高齢者介護管理会社です。家族が高齢の親族の長期介護ニーズに対応するソリューションを開発できるよう支援します。PACE CAREはカリフォルニア州認定在宅ケア機関です。

議題

ヘイトクライムとヘイト
インシデントの定義

ヘイト行為の動機付
け、統計、反アジア人
憎悪

ヘイト行為の被害者に
なった時にすべきこと

知識チェック

ヘイト行為を目撃した
時にすべきこと
- 5つのD

まとめ

ヘイト行為を報告す
るためのリソース

知識チェック

目的

この研修は、ヘイトクライム/ヘイトインシデントとは何か、それがどのように現実化するか、ヘイト行為がアジア系アメリカ人コミュニティにどのような影響を及ぼすかについて、概要を提供することを目的としています。また、AAPI コミュニティを支援し、団結するために何ができるかについても取り組みます。

さらに、米国における人種差別や外国人嫌悪がこの問題に加担していることも認識しなければなりません。このプレゼンテーションは、憎悪と偏見に反対するため、すべてのコミュニティに対する理解、思いやり、包括性(インクルーシビティ)を促進するための行動を呼びかける役目を果たします。

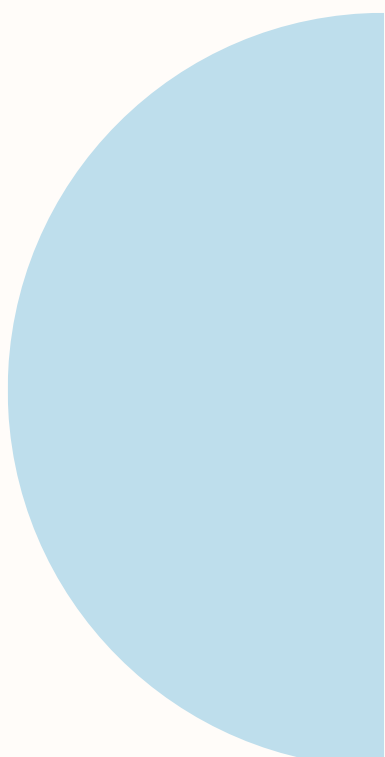
ヘイトクライムとは？

- ヘイトクライムとは、被害者の事実上または認識上の保護対象社会集団が動機付けとなって起こされる個人、集団、もしくは財産に対する犯罪です。
- ヘイトクライムは、犯された行為次第で軽犯罪または重罪として起訴される可能性があります。
- ヘイトクライムは、暴行、殺人、放火、破壊行為や、そのような犯罪を犯すとの脅迫など、往々にして凶暴な性質にあります。また、犯罪が実行されなかった場合でも、犯罪の共同謀議や他人への実行依頼もヘイトクライムに含まれます。

ヘイトクライムとは？

カリフォルニア州では、事実上または認識上、以下であることを理由に標的にされた人は、ヘイトクライムの被害者である可能性があります。

- 遵守または民族
- 国籍
- 宗教
- 性別
- 性的指向
- 身体障害または精神障害



ヘイトインシデントとは？

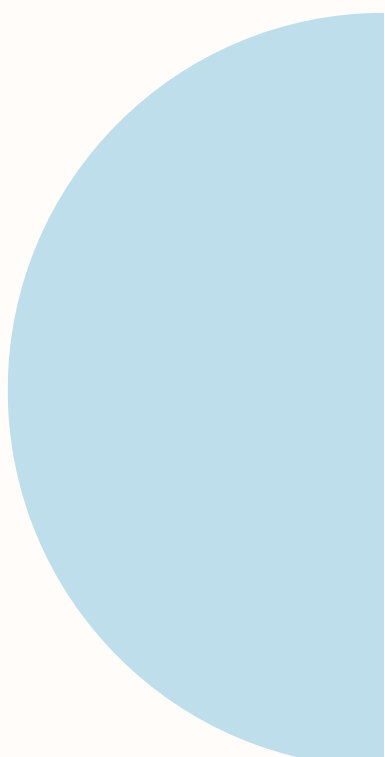
ヘイトインシデントとは、憎悪に動機付けられた行動または行為を意味しますが、単複の理由により犯罪とはみなされません。ヘイトインシデントの例には以下が含まれます。

- 悪口
- 侮辱
- 自分の財物での憎悪的素材の表示
- 財物損壊を引き起こさないかたちでの憎悪的素材の掲示
- 公共の場でのヘイトメッセージを含む資料の配布

ヘイトインシデントとヘイトクライム

ヘイトインシデントは犯罪行為ではありません。

ヘイトインシデントには、偏見に動機付けられた敵対的/憎悪的な発言、あるいは無礼/差別的な行為が含まれます。それにもかかわらず、ヘイトインシデントは犯罪となる要素を満たしていないため、犯罪(クライム)にはエスカレートされません。



ヘイトクライム/ヘイトインシデントの動機

人種差別

- 人種は人間の特性と能力の基本的な決定要因であり、人種の違いは特定の人種の本質的な優位性を生み出すという信念
- この信念を反映し育む行動または態度：人種的な差別または偏見（メリアム=ウェブスター）

外国人憎悪

- 外国人、異文化圏の人々、もしくは見知らぬ人々に対する嫌悪、敵意、軽蔑、恐怖

ヘイトクライム/ヘイトインシデントの動機

偏見

- 以下に基づく先入観による他人の(通常は好ましくない)評価または分類:その人の見かけ年齢、宗教、性的指向、人種、民族、言語、および/または国籍

例:「中国/中国系/アジア・ウィルス」、「武漢ウィルス」、「カンフル(カンフー・インフルエンザ)」、「中国/中国系疫病」

- COVID-19を描写する偏見的、外国人憎悪的、人種差別的な用語

COVID-19以降 反アジア人ヘイトクライムが増加



COVID-19以降(2020年) 反アジア人ヘイトクライムが増加



黒人

35%

ヒスパニック系/a

153%

白人

127%

アジア・太平洋
諸島系

340%

2019年～2020年
の増減(%)

反アジア人ヘイトクライム(2020年)

人種差別、偏見、外国人憎悪

50%

アジア人に対する中傷的
表現を用いた
ヘイトクライム

23%

被害者にCOVID-19
の責任をなすりつける
ヘイトクライム

25%

移民に対する抽象的
表現を用いた
ヘイトクライム

反アジア人ヘイトクライム COVID-19の後(2022年)に減少



黒人

35%

ヒスパニック系/a

3%

白人

-21%

アジア・太平洋
諸島系

-25%

2021年～2022年の
増減(%)

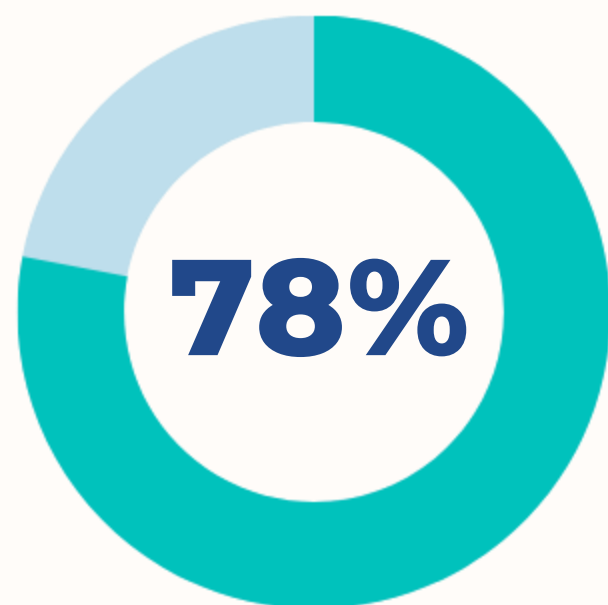


反アジア人ヘイトクライム COVID-19の後(2022年)に減少

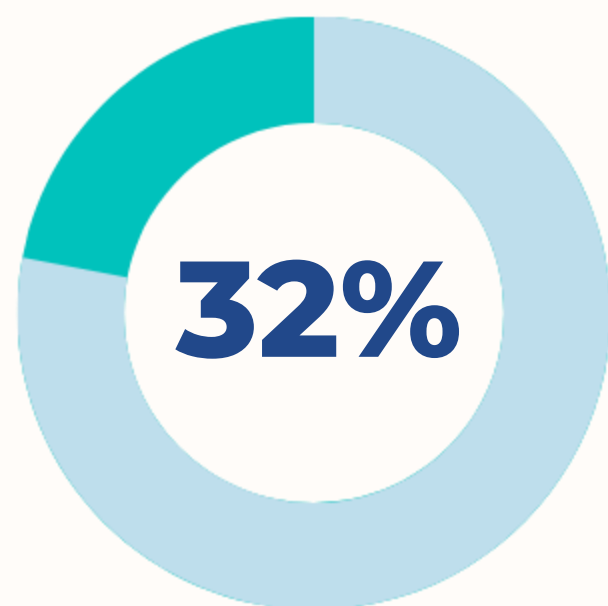
COVID-19以降、反アジア人ヘイトクライムの件数は減少してはいるものの、アジア系アメリカ人は依然として人種差別や憎悪に基づく差別に直面しています。

今日のアジア人に対する憎悪

ヘイト事件、ヘイトクライム、差別




アジア系の成人の**78%**が、米国生まれでも外国人として扱われたことがあります。例としては、母国に帰れと言われること、英語が話せないかのように扱われることが挙げられます。



アジア系アメリカ人の成人の**32%**が、COVID-19パンデミックが始まって以来、人種や民族を理由に脅迫や攻撃を受けた米国内のアジア系の人を知っています、と答えています。



アジア系アメリカ人の**10人中約9人**が、少なくとも1度は差別事件を個人的に経験しています。



何も新しいものではない アジア人に対する憎悪

COVID-19パンデミック中にアジア人に対するヘイト行為の事例が激増したにもかかわらず、このような差別は最近の現象ではないことを認識することが肝要です。

1882年中国人排斥法まで遡り、1940年代までの帰化権の否認、第二次世界大戦中の日系アメリカ人の強制収容、そして2001年9月11日の同時多発テロ攻撃後のイスラム教徒、シク教徒、南アジア人が直面した偏見に至るまで、アジア系アメリカ人はその米国での長い歴史の全期間を通じて常に差別と疎外に直面し、しばしば部外者として認識されてきました。

ヘイトクライムの被害者となった場合にすべきこと

- 直ちに警察(911)に連絡する
 - 自分または他の誰かが差し迫った危険にさらされている場合、医療上の緊急事態に直面している場合、進行中の犯行を目撃した場合
 - 犯罪の意図を示唆する不審または脅迫的な行動や活動が観察される場合
- 治療を受ける(必要な場合)
- すべての証拠を保存/記録する
 - 写真を撮り、重要な情報を書き記します
 - 証拠には、落書き、破壊行為、車のナンバープレート等が含まれます

ヘイトクライムの被害者となった場合にすべきこと

- 目撃者の氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスを入手する
 - 目撃者に、容疑者や関与した車両の描写を説明してもらいます
- ヘイトクライム/犯罪事件に対応する地域のコミュニティ団体に連絡する
- 電話またはオンラインで事件を報告する

ヘイト事件を経験した場合にすべきこと

- 写真を撮り、事件を記録する
- 目撃者の連絡先を入手する
- 目撃者に、犯人や関与した車両の描写を説明してもらう
- ヘイトクライム/犯罪事件に対応する地域のコミュニティ団体に連絡する
- 事件を報告する

自分の権利を知る — 警察とのやり取り

警察による暴力という不幸な事件に直面した場合には、法執行機関とかかわる際の自分の権利を知ることにより、自分自身を防護し正義を擁護する力を得ることができます。

- 自分から警察への連絡を開始した場合は、その連絡を随時終了することができます
- 警察とは過去に嫌な経験があったと説明することから会話を始めると、警察官があなたの視点をより良く理解することに役立ちます
- スーパーバイザー(上官)を随時要請することができます
- 警察との接触を記録することはあなたの権利です

これらの権利はありますが、具体的な法律や規制は司法管轄区域によって様々に異なる可能性があることを覚えておくことが重要です。警察とのやり取りの最中には(自分の権利を主張しながらも)冷静さと協力姿勢を保つことは、往々にしてより円滑な結果につながります。

知識チェック

外国人憎悪とは、・・・に対する恐怖や憎悪のことです

- A. 異なる服装をする人々
- B. 見解の異なる人々
- C. 外国人や見知らぬ人々
- D. COVID-19などの感染症のウィルス保持者

知識チェック

外国人憎悪とは、・・・に対する恐怖や憎悪のことです

A. 異なる服装をする人々

B. 見解の異なる人々

C. 外国人や見知らぬ人々

D. COVID-19などの感染症のウィルス保持者

知識チェック

外国人憎悪に対抗するには何ができるでしょうか？

- A. 人種差別的な言葉を指摘する
- B. 他の文化を祝福し、違いを尊重する
- C. いじめや攻撃を報告する
- D. 上記のすべて

知識チェック

外国人憎悪に対抗するには何ができるでしょうか？

- A. 人種差別的な言葉を指摘する
- B. 他の文化を祝福し、違いを尊重する
- C. いじめや攻撃を報告する
- D. 上記のすべて

ヘイトクライムまたはヘイトインシデントを目撃した場合にできること

傍観者介入の5つのD

- 嫌がらせ(ハラスメント)と闘う団体「Right To Be」が開発した介入方法
- 気をそらす、委任する、記録する、後で対応する、直接介入する

介入は、嫌がらせを受けている人をサポートし、嫌がらせは許されるものではないことを強調し、私たちにコミュニティをより安全にする力を持っていることを実証するために利用できます。

傍観者介入の5つのD

1) 気をそらす (Distract)

気をそらすことは、微妙にして創造的な介入方法です。その目的は、単に嫌がらせ事態を中断することによって脱線させることです。適切な気のそらせ方のカギは以下のとおりです。

- 嫌がらせをしている張本人を無視し、嫌がらせを受けている人に直接関わる
- 起こっている嫌がらせについて口外または言及せず、代わりにまったく関係ないことについて話す

RIGHT
TO
BE

傍観者介入の5つのD

気をそらす

状況を緩和するために間接的なアプローチを取る

こう言う：
すみません、バス停
がどこにあるかご存
知ですか？



嫌がらせを受けている人と会話を始める、またはその人から注意をそらす別の方法を見つけます。道順や時間を尋ねたり、何か物を落としたりします。

出典: *Right To Be*

傍観者介入の5つのD

2) 委任する (Delegate)

委任とは、嫌がらせへの介入にあたり第三者に助けを求めることです。委任の力は以下のとおりです。

- 助ける心の準備と意志があるような代理の人を探す
多くの場合、すぐ隣にいる人が格好の選択となります
- 誰かに助けを求めて任せる際には、自分が何を目撃したか、どのように助けてほしいかを、可能な限り明確に伝える

RIGHT
TO
BE

傍観者介入の5つのD

委任する

他の人から助けを得る



バスの運転手、客室乗務員、警備員、教師、店長など、権威のある立場の人を見つけて助けを求めます。まずは嫌がらせを受けている人に確認します。警察を呼んでほしいかどうか尋ねることができます。警察が関与すると安全だと誰もが感じるわけではないので、被害者が明確に警察を求めた場合のみ、警察に電話します。

出典:Right To Be

傍観者介入の5つのD

3) 記録する (Document)

記録には、嫌がらせの事例に関して録音録画すること、またはメモを取ることが含まれます。インシデントを録音録画することは非常に役立ちますが、嫌がらせを安全に、かつ責任をもって記録するには、以下のとおり幾つかのカギがあります。

- **状況を評価する:** 嫌がらせを受けている人を誰も助けられない場合は、5つのDの別の1つを用います。助けの有無を確認せずにその人の被害体験を録音録画すると、その人に更なるトラウマを与える可能性があります。他の誰かがすでに手伝っている場合は、自分自身の安全を判断し、安全であれば開始します。
- 嫌がらせを受けた人に、自分の撮った録音録画と記したメモもをどうしたいかを常に尋ねる。決して彼らの許可なくオンラインに投稿したり利用したりしてはなりません。

RIGHT
TO
BE

傍観者介入の5つのD

記録する

嫌がらせを受けている人にとって、事件の動画やその他の証拠があることは役立つ可能性があります。公共の場での録音録画に関する法律は様々に異なるため、まずは現地の法律を確認します。



公共の場での嫌がらせを記録するためのヒント

- 安全な距離を保つ
- 場所を特定に役立つ道路標識やその他のランドマークを撮影する
- 日時を述べる

嫌がらせを受けた人に、その映像をどうしたいかを常に尋ねる。決して彼らの許可なくオンライン投稿したり利用したりしてはならない。

嫌がらせを受けている人に注意を向け続ける — 何をするにしても、その人をサポートすることに集中する。

傍観者介入の5つのD

4) 後で対応する (Delay)

その瞬間にその場で行動できない場合でも、事後に確認することで、嫌がらせを受けた人のために何かを変えることができます。

多くの種類の嫌がらせは、偶然に、または極めて急速に起こるため、別の方法で介入する機会があるとは限りません。

しかし、起きたことをただ無視して先に進まなければならないわけではありません。嫌がらせの後に被害者に話しかけることで、その人のトラウマを緩和することができるのです。

RIGHT
TO
BE _____

傍観者介入の5つのD

後で対応する

事件の事後に、嫌がらせを受けた人に連絡を取ります



こうも言える：一緒に座ってもいいですか？どこかへ
ご同行してもいいですか？あなたは何が必要ですか？

傍観者介入の5つのD

5) 直接介入する(**D**irect)

時には、害を及ぼす人物に立ち向かってその不適切な行為を指摘することで、嫌がらせに直接対応したい場合もあります。

直接介入はリスクを伴う可能性があるため、この方法は注意して利用します — 害を及ぼす人物が、介入する傍観者に矛先を転じたり、別のやり方で状況を悪化させたりする可能性があります。

直接介入の第一のカギは、対応するとの決定を下す前に、自分自身に次の質問をして状況を評価することです

傍観者介入の5つのD

5) 直接介入する(**D**irect)

- 自分は身体的に安全か？
- 嫌がらせを受けている人は身体的に安全か？
- 状況が悪化する可能性は低いと見受けられるか？
- 嫌がらせを受けている人が誰かに声を上げてほしいと願っていることが分かるか？

以上の質問のすべてに「はい」と答えられる場合は、直接対応を選択することができます。

直接介入の第二のカギは、**端的かつ明確**に行うことです。対話、討論、ましてや口論に関わることは、状況の悪化を招く可能性があるため、気をそそられても回避します。

RIGHT
TO
BE

傍観者介入の5つのD

直接介入する

まずは自分の安全を確保します。嫌がらせについて声を上げます。
毅然とし、はっきりした態度をとります。






まとめ:

自分自身とコミュニティができること

- 憎悪と不寛容に対して反対の声を上げる
- 被害者を支援するためのコミュニティ集会を開催する
- 被害者に支援と援助を提供する
- 公務員にヘイトクライムに反対するよう要請する



まとめ:

暴力と人種差別に対抗する方法

- ヘイトクライムまたはヘイトインシデントを目撃したら、声を上げる
- ヘイトクライムまたはヘイトインシデントを報告する
- 憎悪に関する研修に参加することを検討する
- 自分の職場での認識を唱導する

ヘイト行為の報告 — 電話

911 緊急事態 & ヘイトクライムの報告

211 ロサンゼルス郡の報告ホットライン

311 ロサンゼルス市の報告ホットライン

(877) 529-3835

ロサンゼルス市警
通報ライン

(833) 866-4283

California vs Hate (カリフォルニア州
反ヘイト行為) 報告ホットライン



ヘイト行為の報告 — オンライン

stopaapihate.org/report-hate

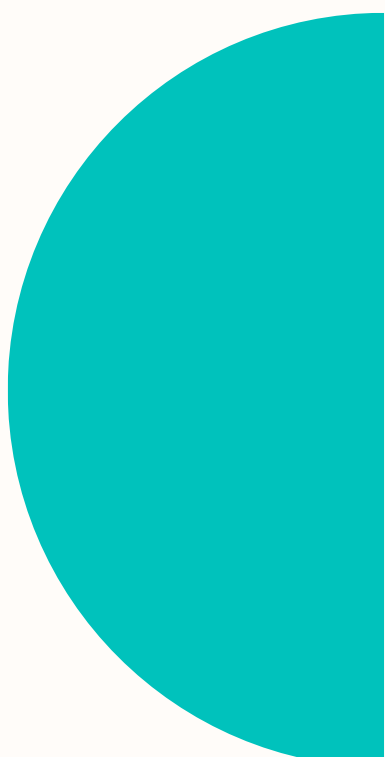
「Stop AAPI Hate」のヘイト行為のオンライン報告フォーム

stophate.calcivilrights.ca.gov

「California vs Hate」(カリフォルニア州反ヘイト行為)のヘイト行為およびヘイト事件のオンライン報告ポータル

lapdonline.org/file-a-police-report

ロサンゼルス市警のコミュニティオンライン報告サービス(CORS)



知識チェック

偏見事件はすべてヘイトクライムとみなされますか？

A. はい

B. いいえ

知識チェック

偏見事件はすべてヘイトクライムとみなされますか？

A. はい

B. いいえ

多くの場合において、アイデンティティに基づく言葉での嫌がらせや差別が存在する可能性があるものの、その事件には悪質な嫌がらせ、身体的攻撃、攻撃の脅迫、財物損壊などの基礎の犯罪が関与していません。

知識チェック

法執行機関はヘイトクライムの報告を受け付けますか？

A. はい

B. いいえ

知識チェック

法執行機関はヘイトクライムの報告を受け付けますか？

A. はい

B. いいえ

あらゆる法執行機関がヘイトクライムのデータを追跡し、その情報を毎年7月7日以前に特定のウェブサイトに掲載することを義務付けられています。

知識チェック

ロサンゼルス市警(LAPD)はヘイトクライムまたはヘイトインシデントの報告を受け付けますか？

- A. ヘイトクライム
- B. ヘイトインシデント
- C. 上記のすべて

知識チェック

ロサンゼルス市警(LAPD)はヘイトクライムまたはヘイトインシデントの報告を受け付けますか？

A. ヘイトクライム

B. ヘイトインシデント

C. 上記のすべて

ロサンゼルス市警(LAPD)のコミュニティオンライン報告システム(CORS)が更新され、ヘイトクライムおよびその他の緊急でない問題と共に、「ヘイトインシデント」のカテゴリーも追加されました。

ありがとうございました

ご質問は？

連絡先: **Ben Pak - ben@kaleousa.org**



KALEO
韓国系アメリカ人
法執行機関

